

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部道路公園課			
		課長名	大木	内線	2730			
関連部課名	防災都市づくり部施設管理課、建築指導課							
行政評価	分野	環境先進都市						
事業体系	政策	08	良好で快適な生活環境の形成					
目的	区民に最も身近な都市施設である道路を、いつでも安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を実施する。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		26年度	27年度	28年度				
	周辺環境の快適さ	2.97	3.05	3.03		お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？		
	防災性	2.34	2.28	2.31		お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
	安全・安心の実感	2.73	2.66	2.68		お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		26年度	27年度	28年度	29年度 見込み		目標値 (38年度)	
	陳情件数(件)	1,333	1,182	1,051	1,050		1,000	平成18年度件数(2,129件)の半減 (道路・街路灯等)
	細街路後退用地整備率(%)	39	40	41	42		51	整備延長 / 整備対象道路延長両側 (自主整備含む)

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費		192,272		地方税等		0	
	物件費		160,787		国庫支出金		25,750	
	維持補修費		371,006		都支出金		8,988	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		30,678		使用料及び手数料		657,236	
	減価償却費		136,773		その他		98,507	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		790,481	
	賞与・退職給与引当金繰入額		12,496		行政収支差額(a)-(b)=(c)		312,625	
	その他行政費用		199,094		金融収支差額(d)		1,728	
行政費用合計(b)		1,103,106		通常収支差額(c)+(d)=(e)		314,353		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		184,452		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		184,452		当期収支差額(e)+(h)		129,901		
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	流動資産		16,711		流動負債		18,914	
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		9,582	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		9,332	
	有形固定資産		188,154,750		その他の流動負債		0	
	土地		175,061,542		固定負債		282,700	
	建物		0		特別区債		137,700	
	建物減価償却累計額		0		退職給与引当金		145,000	
	工作物等		28,344,364		その他の固定負債		0	
	工作物等減価償却累計額		2,157,948		負債の部合計		301,614	
	無形固定資産		0		正味財産		187,873,640	
	建設仮勘定		2,581		正味財産の部合計		187,873,640	
その他の固定資産		1,212		負債及び正味財産の部合計		188,175,254		
資産の部合計		188,175,254						

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>平成26年度に道路ストック総点検を実施し、アスファルト舗装の路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認）や道路附属物（道路標識、道路反射鏡、街路灯）の健全度を確認した。</p> <p>平成26年度にＪＲ東日本と共同で、紅葉坂跨線人道橋について耐震診断、部材の健全度調査を実施し、平成27年度に架替え、補修、バリアフリー化について検討を行い、耐震性や健全度を活かし、バリアフリー化を基本とした整備を実施することとした。</p> <p>平成27年度には区が管理する道路橋2橋（下御隠殿坂跨線道路橋、第二日暮里跨線道路橋）の定期点検を実施し、いずれの橋梁も健全度（予防保全を行うことが望ましい状態）であった。</p> <p>財務諸表の項目では、行政コストとして維持補修費が大きな割合を占めており、道路改修事業や道路応急工事事業など、道路の維持補修に取り組んでいる。</p>
課題	<p>道路ストック総点検の結果を踏まえ、危険な箇所については既に対応が完了しているが、引き続き損傷や陥没等、道路における機能不全の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念される。</p> <p>紅葉坂跨線人道橋については、引き続きＪＲ東日本と協議を行っていくとともに、エレベーター設置など整備が可能な部分からバリアフリー化を図る必要がある。</p> <p>跨線道路橋は、ＪＲ東日本や京成電鉄の営業線路上空を跨いでおり、予防保全のための補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。</p> <p>バリアフリーに対応していない路線や、街路樹の根上がり等により安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>道路ストック総点検で確認された不具合については、引き続き危険度の高いものから計画的に補修を実施する。</p> <p>総点検では把握が出来なかった路面下空洞についても調査を実施し、道路の安全性を確保する。</p> <p>紅葉坂跨線人道橋については、バリアフリー化を図るため、29年度はエレベーター設置予備設計を実施する。</p> <p>また、優先度が高い第二日暮里跨線道路橋から補修・補強を実施する。</p> <p>バリアフリーに対応した段差解消や歩道のセミフラット化など、安全性を高める整備を計画的に進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに適正な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
道路占用等事務	11-03-01	437	770	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理するため、必要な事業である。
道路管理システム運営	11-03-03	2,584	2,586	継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化のために必要な事業である。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	61,684	51,643	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路を良好に維持するために不可欠である。
道路管理事務	11-03-05	44,189	44,494	推進	推進	道路を適正に管理するため、必要な事業である。
道路台帳補正	11-03-06	10,681	11,246	継続	継続	道路台帳の調製は道路法に規定される道路管理者の義務である。
日暮里駅前イベント広場等の運営管理	11-03-11			継続	継続	運営管理を適切に行っていく。
道路ストック総点検事業	11-04-03	29,670	1,166	推進	推進	道路利用者及び第三者への被害防止のため、定期的に点検を実施する必要がある。
道路清掃事業	11-04-04	64,566	65,386	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持するうえで重要である。
道路維持事業	11-04-05	68,014	73,142	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持するため、不可欠な事業である。
道路損傷復旧事業	11-04-06	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業である。
道路応急工事事業	11-04-07	77,371	76,161	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠である。

街路樹等管理事業	11-04-09	46,856	47,019	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等の継続的な維持管理は必要である。
道路改修事業	11-04-10	180,685	168,366	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路の機能を果たすため、計画的な道路改修が必要である。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	36,257	0	推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はJRや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要である。
私道整備事業	11-04-19	43,883	40,762	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	282,360	322,360	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業である。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	30,684	30,498	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境の改善のため重要である。
合計		979,921	935,599			